

令和3年度 放課後等デイサービス事業所(いるかデイ東見前)自己評価・集計について

- 1 目的 保護者と事業所それぞれが自己評価をすることで、日々の支援の在り方や業務について、再確認及び検討を加え、より良いサービスの提供と充実を図る。
- 2 調査期間 令和3年9月13日～10月15日
- 3 対象者
 - ・定期利用のある保護者14名
 - 14名に依頼し回答があったのは、9名(回収率64.3%)
 - ・職員 4名(回収率100%)
- 4 実施結果

(1)保護者

保護者向け自己評価・集計表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	未記入	ご意見	評価及び課題
環境・ 体制・ 整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	7	2			・特記事項なし	・2つのプレイルームを有効活用し、子どもの状況に応じた支援環境を整えていきます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	8	1			・特記事項なし	・職員の配置は、人員基準を超える有資格者を配置してます。

	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	3			・特記事項なし	・トイレや玄関に手すりを設置しています。個々の状況に応じて対応しています。
適切な支援の提供	④	こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	9				・特記事項なし	・支援会議を行い、情報の共有を行い、共通の認識のもと支援しています。
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	7	2			・特記事項なし	・活動内容は、季節感のある活動や行事、おやつや昼食作り、軽運動(散歩や公園遊び等)を取り入れ行っています。 ・長期休みには、買い物活動や施設見学など社会資源を積極的に活用しています。ただし、コロナ禍において、密にならないような場所や短時間の外出となっております。 ・コグトレやソーシャルスキルトレーニングを取り入れ、個々に応じた支援を行っています。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか	2	4	3		・特記事項なし	・現在、外部との交流の機会はありません。
	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされているか	9				・特記事項なし	・引き続き契約時には、重要事項説明書を基に、丁寧な説明を行っていきます。重要事項説明書に変更がある場合は、随時説明をしています。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解できているか	9				・特記事項なし	・家庭に送った際や連絡帳を通して、活動の様子や成長・変化についてお伝えしています。また、必要に応じて電話にて対応しています。 ・現在の様子や課題について、保護者の方々と共通理解し合うことを大切に、今後も対応していきます。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9				・特記事項なし	・保護者からの相談には随時応じています。必要に応じて、助言や情報提供をしています。

保護者への説明等	⑩	父母会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		6	3		<ul style="list-style-type: none"> ・わからない。 ・父母会があればよいと思うが、各々仕事もあるし、現実的に保護者の交流は難しいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の事業所を利用されている事や保護者の方々の就労等の関係もあり、現状では難しいと思われます。 	
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	3			<ul style="list-style-type: none"> ・特記事項なし 	<ul style="list-style-type: none"> ・体制は、整備され、苦情等については、迅速に対応しています。引き続き保護者の方々が話やすい雰囲気作りをし、迅速かつ丁寧に対応していきたいと思います。 	
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のために配慮がなされているか	9					<ul style="list-style-type: none"> ・特記事項なし 	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳を活用したり、ご家庭に送った際にお伝えしていきます。また、必要に応じて、電話連絡を行います。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信している	9					<ul style="list-style-type: none"> ・特記事項なし 	<ul style="list-style-type: none"> ・いるかデイ東見前通信を今後も発行して、活動の様子をお伝えします。 ・自己評価の結果については、文書でお伝えします。また、ホームページでの公開を予定しています。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	9					<ul style="list-style-type: none"> ・特記事項なし 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の漏えい等については、細心の注意を払っています。 ・関係機関との連携で必要な場合もありますので、契約時に保護者の方から、同意書への記入をお願いしています。また、必要に応じて、保護者の承諾を得ながらすすめています。
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	9				<ul style="list-style-type: none"> ・特記事項なし 	<ul style="list-style-type: none"> ・策定したものを保護者へ配付しています。 	
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練、救出、その他必要な訓練が行われているか	9				<ul style="list-style-type: none"> ・特記事項なし 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練は、年間計画に基づいて、月1回実施しています。(火災、地震、浸水、不審者) 	

満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	9				・特記事項なし	・回答者 全員の方に「通所を楽しみにしている」答えていただきました。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	9				・特記事項なし	・回答者全員の方に「満足している」と答えていただきました。今後も保護者や利用者の方々に信頼され、安心して利用して頂けるように、個々のニーズに合わせて丁寧な支援・対応に努めます。
合計			135	21	6	0		
割合%			83	13	4	0		

全体としての課題

・支援内容や職員の対応等について、回答いただいた保護者の方々から好意的に感じていただいていることが分かりました。ありがとうございます。今後も保護者の方々に信頼され、安心して利用していただけるように、職員間で情報を共有し、支援の質の向上に努めてまいります。

(2) 事業所

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価・集計表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	評価及び課題
環境・体制・整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		4		・2つの部屋を活動内容によって使い分けしている。パーソナルスペースが必要な利用者には、部屋の中にテーブルで区切りスペースを確保し、折り合いができています。	・限られたスペースを有効に活用できるように工夫していきます。
	②	職員の配置数は適切であるか	3	1		・基準人数より1名多く配置されている。個別対応ができる体制作りに努めている。	・利用者の利用申し込み状況や外出時等状況に応じた職員体制を継続していきます。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		4		・玄関の段差には踏み台を置き、玄関やトイレに手すりを設置している。	・現段階では、バリアフリー化が早急に必要ない状況ではありませんが、安全で使いやすい環境を整えて対応していきます。
業務改善	④	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4			・定期的なモニタリングを行っている。	・事業の現状と課題の把握と職員の資質向上のために継続して行っています。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意見を把握し、業務改善につなげているか	4			・年1回実施、事業や支援内容に反映している。 ・意見要望等の受付や嗜好調査等を行っている。	・保護者の要望等を明確にするためにも、継続して実施し、サービス向上に努めていきます。
	⑥	自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4			・保護者の方に文書でお伝えし、玄関に掲示している。	・集計結果をホームページに公開する予定です。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		1	3	・未実施。	今後の検討課題です。
	⑧	職員の資質の向上を行うために研修の機会を確保しているか	4			・職員全員が研修に参加できるように、調整して参加している。	・様々な研修に積極的に参加し、職員の資質向上に努めていきます。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			・契約時及び年度初めに保護者によるアセスメント表の記入をお願いしている。 ・個別面談時に詳細を確認し、個別支援計画を作成している。	・引き続き実施し、保護者・利用児童のニーズ、課題、目標を的確に踏まえ計画の作成に努めます。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	1		・任意の様式にて対応している。	・引き続き実施し、不都合な点については、検討し改善していきます。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4			・職員会議で話し合い、活動内容や余暇・外出活動の計画を立てて実施している。	・引き続き実施し、療育支援の充実を図っていきます。

	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4			・季節の行事を取り入れ、予定表を作成し固定化しないようにしている。	・引き続き、活動内容の検討・充実を図っていきます。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4			・社会資源を積極的に活用し、子どもたちの経験の幅を広げられるような内容を工夫している。(買い物活動、施設見学、昼食作り等)	・コロナ禍で外出活動に制限はありますが、提供時間に応じた工夫を行い支援していきます。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	1		・利用者のニーズや状態を確認して作成している。環境設定や個別的な対応を行っている。	・引き続き実施していきます。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4			・朝のミーティング時に、利用予定の確認、活動等について職員間で確認・共有する。	・引き続き実施し、支援やサービス内容の充実を図っていきます。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	4			・当日及び翌日のミーティングにて振り返りと検討を行い、職員間で情報を共有し合っている。	・引き続き実施し、支援の充実を図っていきます。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			・第三者が見ても状況が把握できるように、事実と推測を明確に記録するようにしている。	・継続していきます。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4			・6か月ごとのモニタリングを基本とし、必要に応じ適宜モニタリングを行っている。	・引き続き実施していきます。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	4			・放課後等デイサービスのガイドラインに基づき、目標と支援方針を明確にしている。保護者と情報共有ができるように支援計画を作成している。	・今後もサービスの充実に向けて、ガイドラインに沿った支援を継続して行っています。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	4			・ケア会議には、児童発達支援管理責任者をはじめ子どもの状況に精通した職員が参加している。	・継続していきます。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4			・学校や保護者から学校行事等の情報をいただいている。必要に応じて学校に確認をしている。	・引き続き適切な対応を行っていきます。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている。		2	2	・医療的ケアが必要な子どもの受け入れはないが、投薬が必要な子どもの場合は保護者からの指示のもと対応している。	医療的ケアが必要な子どもは現在利用しておりませんが、必要な場合には主治医との連絡体制を整え、支援への留意事項を明確にするとともに、緊急時の対応ができるように努めます。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	3		・今年度は、新しい受け入れがなく、情報の共有はしていない。	・必要に応じて、適切に対応していきます。

	②④	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から他の福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	2	・該当者がいなかった。今年度卒業予定の方がおり、必要に応じ情報は提供する。	・必要に応じて、適切に対応していきます。
	②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	2	・必要に応じて情報を共有している。	・連携の充実を図っていきます。
	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		4	・未実施。	・外部との交流は今後の検討課題としていきます。
	②⑦	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1	3	・機会がない。	・機会があれば積極的に参加していきます。
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	4		・連絡帳や送迎の際、共通理解に努めている	・引き続き、信頼関係を築きながら丁寧な対応と助言を行っていきます。
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	2	・子どもの状況に応じ、ペアレント・トレーニング等の考え方に基づいた助言・支援を行っている。しかしながら、セッションを積み重ねていくペアレント・トレーニングは実施できていない。	・保護者が子どもの状況を正しく理解し適切に対応ができるようにペアレント・トレーニングに取り組んでいきます。
保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4		・契約時に説明をしている。支援内容や利用者負担等の変更については、適宜通知と説明を行っている。	・十分な理解が得られるように、引き続き周知に努めていきます。
	③⑪	保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4		・保護者から相談があった場合には、迅速かつ適切な対応に心がけている。	・引き続き、保護者の思い・悩みを受容し、適切な対応及び助言を行っていきます。
	③⑫	父母の会活動を支援したり、保護者会を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		4	・父母の会の活動は行っていない。	・現段階では、保護者からの要望は出ていません。ご意見を伺いながら検討していきたいと思えます。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備すると共に、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4		・苦情受付担当者、苦情解決責任者を配置し、迅速に対応できる体制を作っている。	・保護者の方々との信頼関係を築き、遠慮せずに話せる雰囲気や環境を作りをしていくと共に、周知徹底をしていきます。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4		・月1回、「いるかデイ東見前通信」を発行している。活動の様子を写真と共に紹介し、行事予定を掲載している。	・今後も内容の充実を図っていきます。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	4		・個人情報に記載された書類等は事務室にて一括管理している。関係機関とやり取りが必要な場合は、取り扱いに十分注意している。	・今後も取扱いについては、十分に留意しながら対応をしていきます。

	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のために配慮しているか	4			・障がいの特性や状況に応じ配慮している。	・引き続き丁寧な対応を行っていきます。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	2	1	・今年度、地域の方々との交流は行っていないが、友好的な関係を維持できるように努めている。	・今後の検討課題とします。
非常時等の対応	③⑧	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4			・策定したものを、保護者へ配付している。	・今後も周知徹底を図っていきます。
	③⑨	非災害の発生に備えて定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4			・毎月1回避難訓練を計画し、実施している(火災・地震・浸水・不審者)	・引き続き実施し、災害に備えていきます。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			・虐待防止の研修を職場内で開催し、全員が参加している。対応の仕方によっては虐待となりえる場合もあるのではないかと、職員間で指摘し対応の検討をしている。	・利用者への対応の仕方について、職員間で話し合い、今後も防止に努めていきます。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承をえた上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4			・研修を行い、身体拘束の具体例を学び、実際の対応について検討している。やむを得ず行う場合に限り、保護者の同意を得て、個別支援計画に記載している。	・保護者へどのような場合にどのような対応を行うか説明し了解を得て、個別支援計画への記載と記録することを徹底していきます。
	④⑫	食物アレルギーの子供について、医師の指示書に基づく対応がされているか	4			・アセスメントにアレルギーの有無について記入してもらい確認している。必要に応じて、詳細の確認を行い、食物アレルギーのある場合には、おやつを持参をお願いしている。おやつや昼食の手作り活動の際は、保護者に確認の上提供している。	・保護者や子どもが安心・安全に利用して頂けるように対応していきます。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4			・事由が生じた場合、報告し改善策の検討を行っている。	・引き続き作成し、事故防止につなげていきます。
合計		127	26	19			
割合 (%)		74	15	11			

全体としての課題

・コロナ禍で外出活動は減少しており、このような状況でも可能な活動の工夫、長期休み中の活動の充実に努めていきたいと思ひます。